

数学

大阪大学[理系] (前期)

<全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	5 題
------	-------	-------	-----

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・**やや減少**・変化なし・やや増加・増加)
難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

数学Ⅲの比重が高め、今年度は5問すべてに (少しずつ) 数学Ⅲの分野が入っている。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

今年度は文理の共通問題はなかった (類似問題は2問あった)

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	微分法	数学Ⅲ	関数の増減・最大値・グラフ、関数の極限	やや易
2	複素数平面 数列 確率	数学Ⅲ 数学B 数学A	複素数の積と偏角 確率と漸化式	標準
3	三角比 微分法	数学Ⅰ 数学Ⅲ	正弦定理 微分法の不等式への応用	標準
4	積分法	数学Ⅲ	積分法と面積 関数の極限	標準
5	2次曲線 2次関数	数学Ⅲ 数学Ⅰ	楕円の定義 円錐の体積の最大値 (2次関数になる) 多変数関数の処理	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

いずれの問題も完答するには数学的な考察をしっかり行うことが必要であり、基本事項の単純な組み合わせで解決できるような問題は少ない。日頃の学習において、単に問題を解くことに満足せず、高度な知識を身につけることや、柔軟な着想や運用、また、表現の意味や問題の背景にある数学的内容を確認することなどに留意して学習してほしい。